

「平成21年度第3回富県宮城推進会議幹事会」会議録要旨

日 時：平成22年2月16日（火） 午後1時30分～午後3時5分
場 所：宮城県行政庁舎4階 特別会議室
出席団体：資料名簿のとおり

1 開 会（司会：宮城県経済商工観光部富県宮城推進室 熊谷副参事）

2 あいさつ（東北大学飯島理事(幹事長)）

我が国の景気は、1月の内閣府月例経済報告で「景気は持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある」との判断がなされている。

また、宮城県経済は、1月の「みやぎ経済月報」で、「生産に持ち直しの動きがみられるものの、景気は依然として厳しい状況が続いている」とされている。

このように厳しい状況にあるが、今年1月にはパナソニックEVエネルギーの新工場の操業開始、来年1月のセントラル自動車の本格的な操業開始に向けた動きなど、「富県宮城の実現」に向けた取組成果が着実に現われ始めている。

このように今後の発展が期待される取組成果が出てきていることから、こうした動きをさらに加速し県内各地に波及させていくことが、現在問題となっている雇用の拡大に向けても重要になると考える。

このため、引き続き産学官が一体となり、製造業の集積促進、観光及びサービス産業の振興、農林水産業の競争力強化など、「富県宮城の実現」に向けた積極的な取組が期待されているので、皆様には一層の御尽力をお願い申し上げます。

有意義な会議となるよう、活発な御議論をお願い申し上げます。

3 報告事項

（1）「富県宮城の実現」に向けたこれまでの主な取組と成果について

事務局（富県宮城推進室加藤室長）より、資料1に基づき説明

（東北大学 飯島理事(幹事長)）

7の国際経済の中で、デラウェア州の関係において、本県企業との協業契約協議継続案件とはどういう内容か。

（経済商工観光部 平泉次長）

具体的には、東北大学等が介在し、アメリカ企業と県内企業とが協業契約締結や共同研究に向けた協議案件がいくつか出てきている状況にある。

（2）宮城の将来ビジョン第2期行動計画(案)について

事務局（富県宮城推進室加藤室長）より、資料2に基づき説明

質疑・意見等なし

（3）平成22年度宮城県当初予算(案)及び「みやぎ発展税」の活用施策(案)について

事務局（富県宮城推進室加藤室長）より、資料3に基づき説明

質疑・意見等なし

(4) 「富県創出モデル事業」について

事務局（富県宮城推進室加藤室長）より、資料4に基づき説明
質疑・意見等なし

4 議 事

(1) 富県宮城推進会議会則の一部改正について

事務局（富県宮城推進室加藤室長）より、資料5に基づき説明

（（社）みやぎ工業会 白幡特任顧問（副幹事長））

構成員以外の傍聴参加はどのように取り扱うのか。

（富県宮城推進室 加藤室長）

現在、県で開催する会議は概ね傍聴を認めている。会場の問題はあるが、傍聴できるようにしたい。

資料記載の構成員は例示であり、事務所ごとに選任していただくことと考えている。

一部改正案について了承。第2回富県宮城推進会議に付すことになった。

報道関係者・傍聴者退席

(2) 平成21年度「富県宮城グランプリ」表彰について

事務局（富県宮城推進室加藤室長、熊谷副参事）より、資料6に基づき説明

「富県宮城グランプリ」表彰については、個人情報等が含まれるため報道関係者退室の上で協議した（「富県宮城グランプリ」表彰に係る発言要旨については、上記の理由から記載省略）

5 その他

事務局（富県宮城推進室加藤室長）より、以下の4点について報告
「農商工連携の“宝さがし” in 仙台！」

明日（2月17日）まで仙台駅内で開催されている。

「富県宮城の実現」に向けた取組と成果

県及び団体の取組等について、今後取りまとめて情報発信したい。各団体の取組について時期を定めて照会するので御協力願いたい。

第2回富県宮城推進会議の開催スケジュール

平成22年3月19日に開催予定。委員の日程調整をお願いしたい。

平成22年度の推進会議・幹事会日程等

「富県宮城の実現」に向け、引き続き、産学官が一体となり取組を進めていきたい。

新年度の取組として、「地産地消に取り組む宣言文」のようなテーマを設定し取りまとめたい。

3月の推進会議終了後に各団体にテーマを照会し5月の幹事会で意見交換を行いたいので、よろしく願いたい。

質疑・意見等なし

6 閉 会